

# 心・体・暮らしに寄り添う クリニックちくさヒルズ通信 NO.9



当クリニック  
林衆治院長

## 幹細胞治療 特集

2021年11月号

昨今、「幹細胞」についてのお問い合わせを多くいただいております。今号では、そもそも幹細胞とは？ またその治療とは？ などわかりやすく解説してみましょ。ご参考になれば幸いです！

皆さんの体は約60兆個の細胞からできており、それぞれの細胞は違った役割を持って働いています。皮膚や関節、心臓などといった組織を構成し機能する細胞がある一方で、それらの機能を持った細胞に変わる(分化)ことができるオリジナルの細胞も存在しています。これらの細胞を「幹細胞」と言います。様々な臓器や組織に分化することができ、私たちの体を常に若く保つために活躍しています。

私たちの細胞にはそれぞれ寿命があり、多くの細胞は分化したのちにやがて死んでいきます。これを補うために、幹細胞は自己複製を行って数を増やし、新しい組織へと分化していく必要があるのです。

近年、幹細胞の持つこれらの特性を医療に応用する研究が盛んに行われており、実際に当クリニックのように治療として実施している施設も少なくありません。幹細胞の持つ自己複製能を用いることで、脂肪や骨髄、歯などから採取した少量の細胞を指数関数的に増殖させ、これによって得た幹細胞を病気や怪我などで損傷した部位に移植することで、移植部位の再生などを期待することができるのです。

こうした治療を行う他の施設では、患者様より採取した脂肪組織を培養・増殖するために専門の委託先に持ち込むケースが多いのですが、それと比較して当クリニックでは患者様より採取された脂肪組織は、院内に併設する特定細胞加工物製造施設に持ち込まれ、脂肪から幹細胞を分離して培養・増殖を行っているため、運送による劣化を防ぐことで安全性を高めています。細胞培養は、厳格な管理のもと実施され、細胞の入庫時にウィルス検査等の細胞検査を行い、全ての工程の履歴管理、厳しい品質管理等の運用管理を導入した体制のもと細胞培養されています。

この併設施設は、厚生労働省よる平成26年11月25日「再生医療等の安全性の確保等に関する法律(再生医療新法)」の施行に基づき、「特定細胞加工物製造事業者」として認定された細胞培養加工施設です。

当クリニックの幹細胞治療は、変形性関節症・関節周囲炎・変形性脊椎症・慢性肝炎・アトピー性皮膚炎・潰瘍性大腸炎・肝硬変・自己免疫性腎疾患などの疾患を持つ臓器や組織の再生、修復などの効果が期待できます。

その他ご不明な点、ご不安な点がございましたらご遠慮なくご来院ください。  
ホームページ(URL)でも詳しく掲載しております。  
ホームページが新しくなりました。ご感想もお寄せください。



## 腰痛特集

**一言で腰が痛いと言っても！**

腰痛に悩む方はとても多く、その原因も様々です。症状が軽いうちに治療することが大切で、自己判断での治療は禁物ですよ！

当クリニック  
膝関節専門医  
出家 正隆 先生



当クリニック整形外科医  
岩田 久 先生

腰痛には、様々な原因が考えられます。  
クリニックちくさヒルズにまずはご来院ください。

「腰が痛いけど、どこで診てもらっても良くならないよ！」こんな声をよく耳にします。一言で腰痛と言っても「ぎっくり腰」「椎間板ヘルニア」「坐骨神経痛」など症状の種類も多く原因もそれぞれ異なります。

大切なことは**症状を的確に把握すること**ですが、とかく自分勝手な判断で指圧、マッサージ、接骨・整骨院、カイロプラテックなどで診てもらった後、症状が軽減しないまたは悪化して整形外科、外科などに駆け付けるケースが多いのが現状です。

そのため**自己判断は禁物！**症状を的確に判断するためには、「**診断がつけば最適な治療が決まる**」と言った名言がある通り**専門医(整形外科医)**に診てもらうことからスタートすることが大切です。

腰が痛い場合、基本的には「腰痛症」と診断されますが、それではちょっと物足りないとか不安ですね！腰痛症は特定の疾患名ではなく、腰痛を引き起こす様々な疾患の総称なのです。

では、どのような疾患があるのでしょうか？ まずは、

「**筋筋膜性腰痛症**」、これが一番多いのですが腰周辺の筋肉の疲労により引き起こされます。スポーツによるものだけではなく、長時間のデスクワークや中腰作業によって筋肉や筋膜が傷つくことで痛みがあらわれます。

次に「**椎間板ヘルニア**」ですが、腰や臀部の痛み、下肢のしびれや痛み、重いものを持つことで起こる痛み、力が入りにくくなるなどの症状があります。加齢などで椎間板が変形、断裂して神経を圧迫するのです。

その他、同様の症状があらわれる「**変形性脊柱症**」、「**脊柱管狭窄症**」、「**腰椎性すべり症**」などの疾患もあり、人によっては歩行ができないほど症状が重くなることもあります。

冒頭にお話した通り、素人判断で掛かる場所を間違えては場合によってはさらに症状を悪化するケースが多くあります。**素人の生兵法は禁物**です。とにかく**症状が出た場合必ず専門医に相談すること**です。

前号でも紹介しましたが、当クリニックでも通常の治療やリハビリなどで改善傾向がみられない場合など再生医療としての「**PRP療法**」をお勧めしております。気軽にご相談ください。



### 健康の知恵袋



『**薬膳料理**』は体質や季節にあわせた食事と健康を維持することを目的とした食事です。からだをあたためる“陽”の食材と体を冷やす“陰”の食材を組み合わせて血流改善をしてみましょう！

『**薬食同源**』という言葉もあるように食材にも薬のような効果があると言われていています。今日の献立に取り入れてみてはいかがでしょうか？

広報紙 「クリニックちくさヒルズ通信」  
発行 医療法人財団榎順会 クリニックちくさヒルズ  
〒464-0858 名古屋市千種区千種2-24-2  
千種タワーヒルズ1F  
ご意見はこちらまで [info@clinic-chikusahills.com](mailto:info@clinic-chikusahills.com)  
編集・発行 医療法人財団榎順会 クリニックちくさヒルズ  
編集委員会(原稿責任者 川島和信)  
発行日 毎月10日